

2. 圏域の現状について

(1) 構造と人口

圏域は、主に国道 9 号沿いで市街地が発達してきましたが、その後、都市機能の集積と拡大に伴う交通需要の増大に対応するため、山陰道等の整備が進められました。結果として、多くの地方都市と同様に、各市においては、車社会の急速な進展に伴い、中心市街地から郊外へ徐々に市街化が進み、住居地域や就業場所の広域化や、通勤圏の拡大に繋がることとなりました。一方で、中心市街地においては、居住人口の減少や高齢化、空き店舗の増加によって賑わいが失われています。

まちの構造としては、山陰道や国道 9 号が通る、中海・宍道湖南岸に人口、産業が集積する形となっていることから、限られた往来箇所交通が集中し、慢性的な交通渋滞が引き起こされています。こうした圏域の都市機能が十分に発揮されていない状況を踏まえ、圏域振興ビジョンにおいては、基本目標に「未来を創造する圏域 8 の字ルート等の整備促進」を掲げ、圏域の一体的な発展を支えるために交通ネットワークを充実していくことが重要としています。この観点から一極集中型の都市ではなく、圏域各地域の個性や魅力を行政、経済界等、様々な連携により伸ばしつつ、市街地と地域の生活拠点を有機的に結ぶ多極型な圏域づくりを進めていくことが求められています。

また、全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、圏域においても少子高齢化や人口減少が進んでおり、圏域の人口減少率や高齢化率の上昇は全国平均を上回るものとなっています。特に、20 代を中心とした若年層の圏域外流出が多く、社会増加率も減少となる中、若者の雇用を生み出す産業の育成等が急務となっています。

○圏域の人口

区分	令和 3 年 10 月 1 日 現在 (人)	令和 2 年 10 月 1 日 現在 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
	推計人口 (A)	国勢調査 (B)	(C) = (A) - (B)	(C) / (B) × 100
松江市	202,280	203,616	△1,336	△0.66
出雲市	172,871	172,775	96	0.06
安来市	36,420	37,062	△642	△1.73
米子市	146,753	147,317	△564	△0.38
境港市	32,401	32,740	△339	△1.04
大山圏域	48,947	49,665	△718	△1.45
圏域合計	639,672	643,175	△3,503	△0.54
全国平均				△0.51
島根県				△0.93
鳥取県				△0.86

出典 鳥取県人口推計年報 島根県市町村別推計人口・人口動態

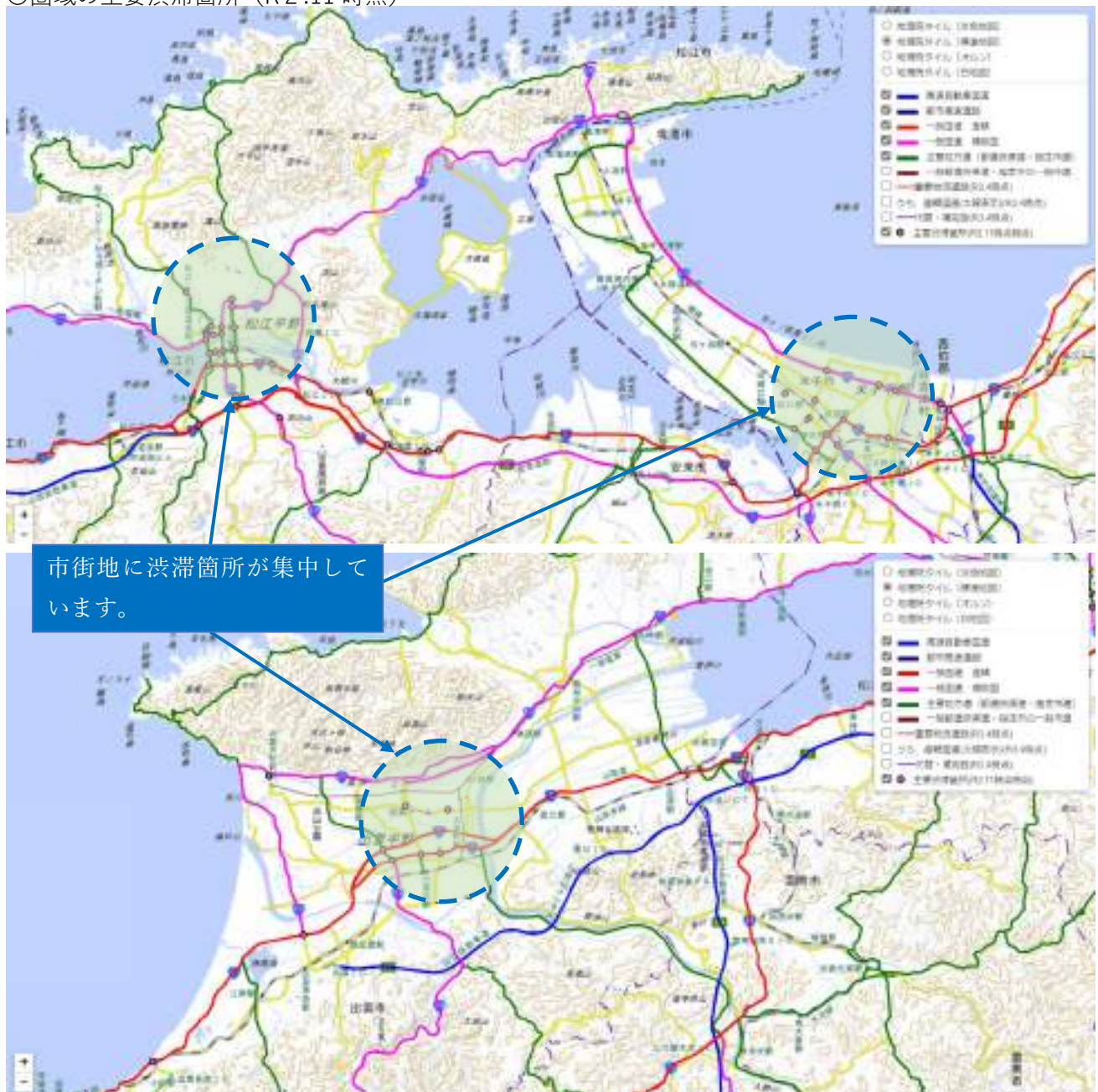
○圏域の年齢階級別純移動数（0歳から29歳まで）

（単位：人）

区分	2000年→2005年	2005年→2010年	2010年→2015年
0～4歳→5～9歳	322	448	449
5～9歳→10～14歳	276	263	317
10～14歳→15～19歳	△2,398	△2,006	△649
15～19歳→20～24歳	△6,318	△7,622	△4,863
20～24歳→25～29歳	2373	145	2040

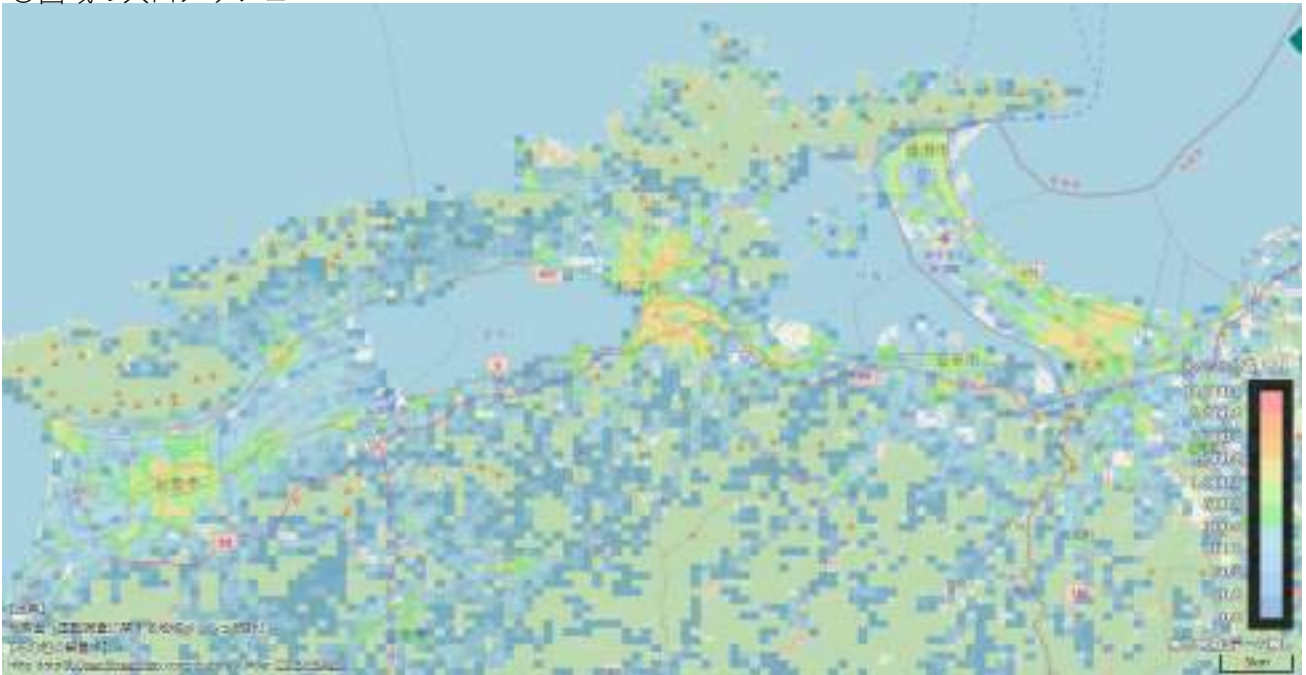
資料 RESAS-地域経済分析システム 人口マップより作成

○圏域の主要渋滞箇所（R2.11時点）

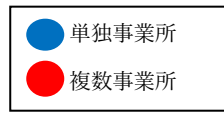
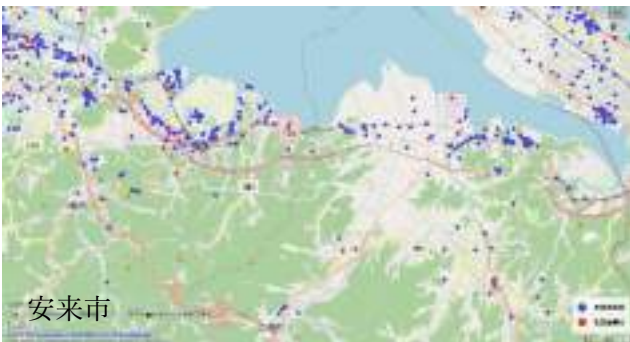
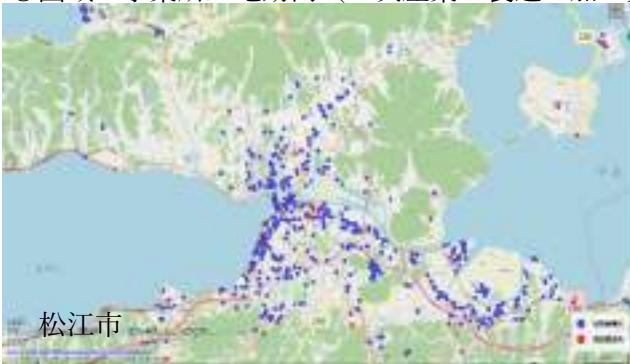


出典 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

○圏域の人口メッシュ



○圏域の事業所立地動向（二次産業 製造・加工分野）



資料「RESAS-地域経済分析システム 人口マップ 人口メッシュ まちづくりマップ 事業所立地動向」より作成

(2) 産業

圏域の産業は、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業の事業所が多数あるほか、一定のIT産業が集積しています。また製造業は食料品、金属製品関連を中心に集積し、事業所の割合は比較的少ないものの、付加価値額の割合は高くなっています。現在の圏域の経済規模は鳥取・島根県の約5割を占めており、山陰地方有数の規模となっていますが、圏域外からの（移出・輸出に伴う）収入額から圏域外への（移入・輸入に伴う）支出額の差し引きはマイナスとなっています。また、圏域には多数の工業団地が立地しており、国道9号、山陰道沿線の工業団地は既に分譲済みとなっている一方、宍道湖北側の国道431号沿線の工業団地は、高規格道路へのアクセス性が低いことなどから大半が現在も分譲中となっており、中海・宍道湖の南北で分譲に差が生じています。

また、境港（さかいこう）は鳥取・島根県に跨る重要港湾であり、近年、高度衛生管理型市場の整備が進んでいるほか、昭和南地区の新規岸壁整備が計画され、拠点性が年々向上しております。周辺への企業進出も増加するなど、外貿コンテナ取扱量は10年で約2倍となっており、今後は農林水産品を含め海外輸出の促進が期待されていますが、最寄りICまでの距離が他の港湾と比較すると長く、アクセス性に課題が生じています。

圏域における観光入込客数は近年横ばいの傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度より大幅な減少となっています。圏域には多くの集客効果を持つ国宝松江城、出雲大社があるほか、水木しげるロード、大山等様々な観光資源が点在しています。観光客の多くは自動車で移動しており、観光地間の移動は多くの時間を要します。このため特に圏域の観光による経済効果を牽引している出雲松江エリア周辺の多くの観光客が、圏域を十分に周遊できていないといった課題があります。一方インバウンドも堅調に増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により激減しました。アフターコロナを見据え、クルーズ船のおもてなし等、広域連携の取組を進めることが重要視されています。

○圏域の生産額 (単位：億円)

区分	一次産業	二次産業	三次産業	合計
圏域合計	912	13,842	25,202	39,956
島根県	799	16,006	27,218	44,023
鳥取県	918	9,524	19,410	29,852
山陰地方合計	1,717	25,530	46,628	73,875

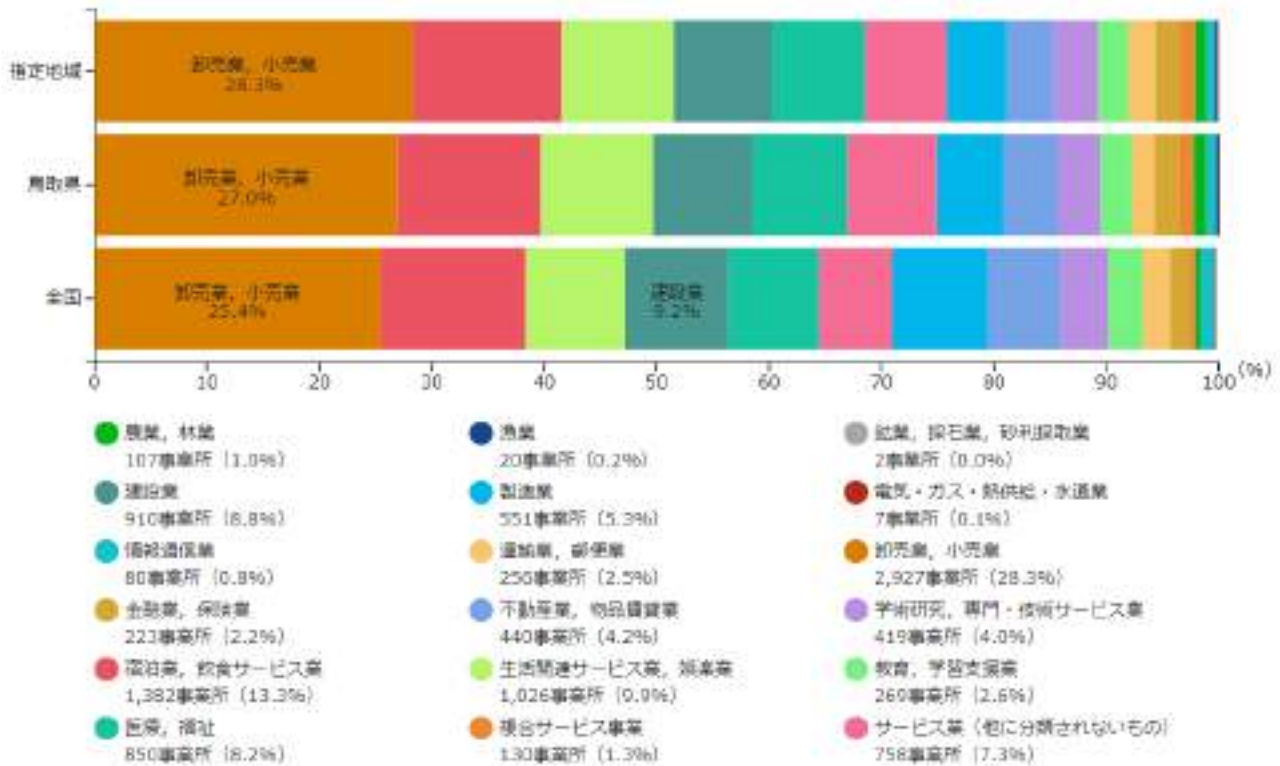
資料 「RESAS-地域経済分析システム 地域経済循環マップ 生産分析 (2015年)」より作成

○移輸出入収支額 (単位：億円)

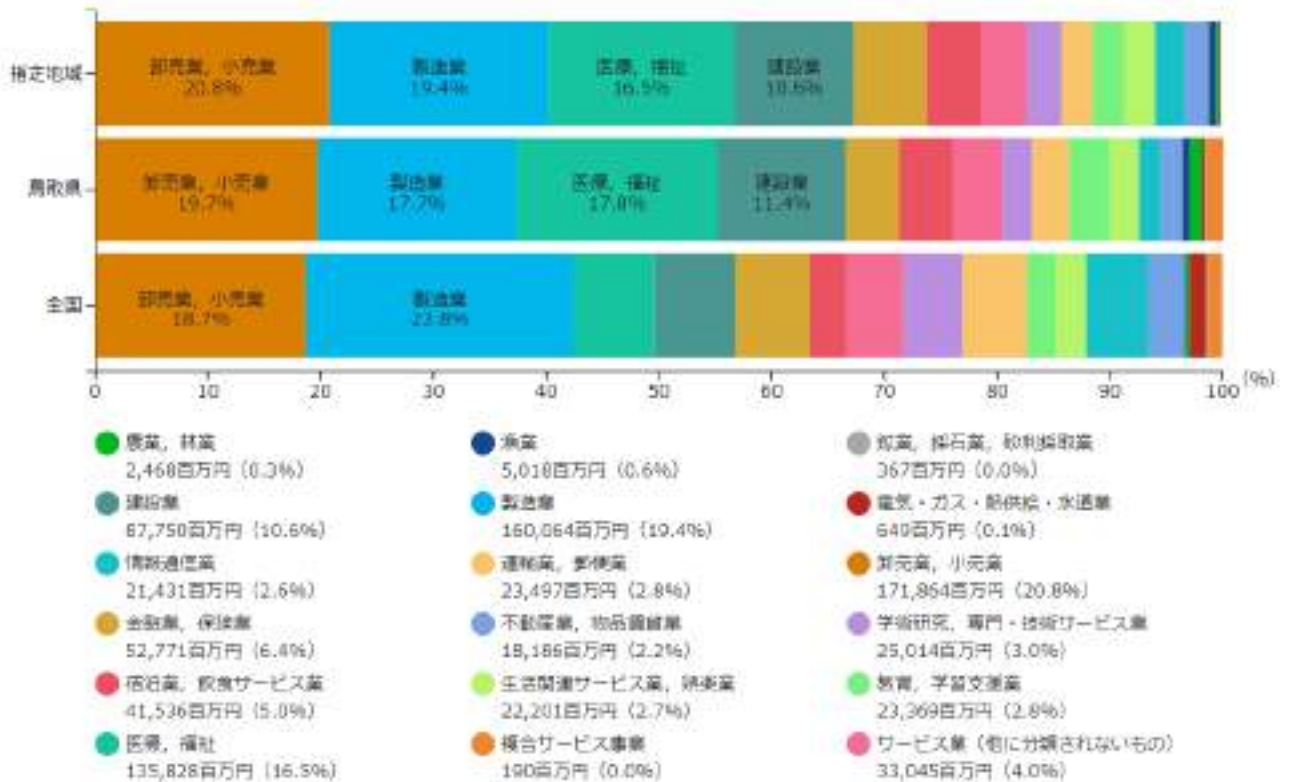
区分	一次産業	二次産業	三次産業	合計
圏域合計	93	△2,818	206	△2,519
島根県	298	△593	△3,916	△4,211
鳥取県	244	△2,085	△2,551	△4,392
山陰地方合計	542	△2,678	△6,467	△8,603

資料 「RESAS-地域経済分析システム 地域経済循環マップ 生産分析 (2015年)」より作成

○圏域内産業の事業所数及び割合



○圏域内産業の付加価値額の割合



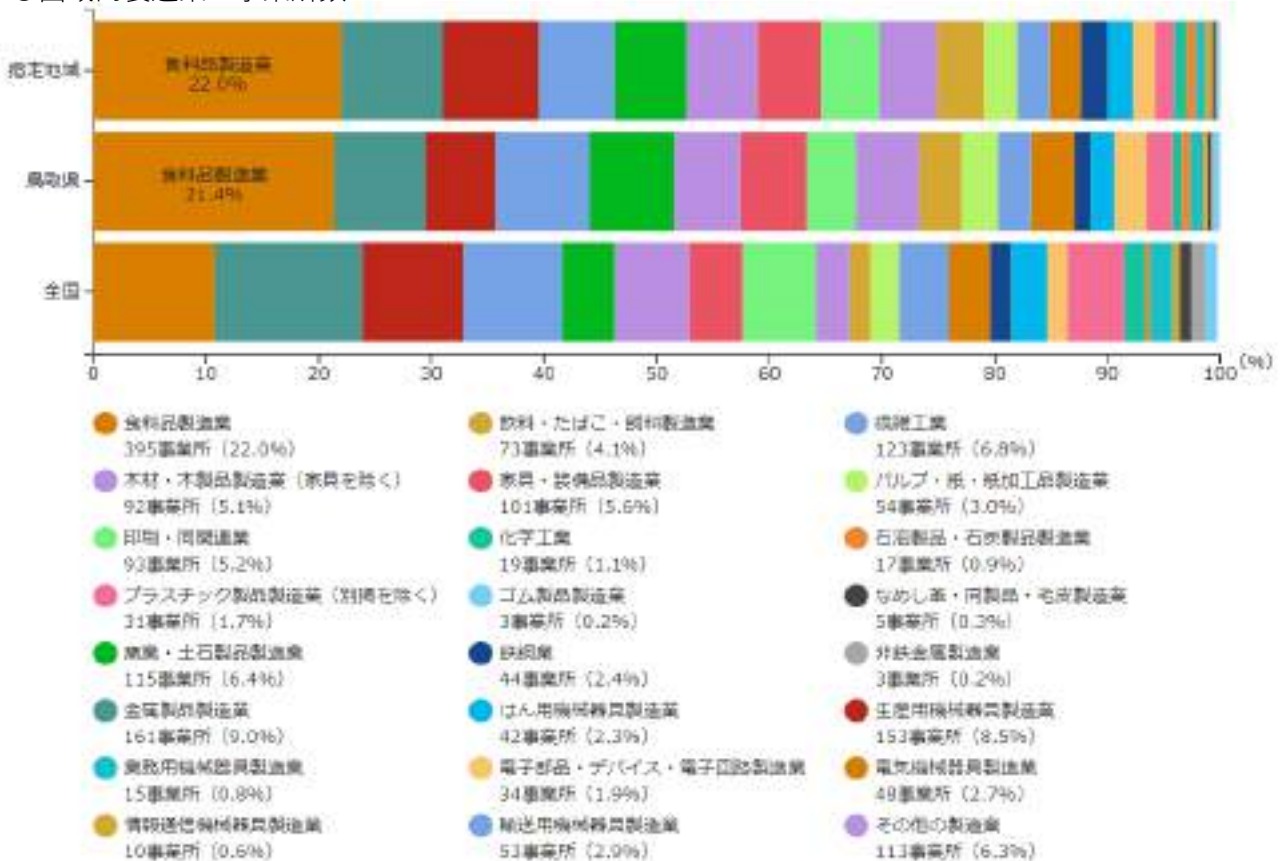
資料 RESAS-地域経済分析システム 産業構造マップ より作成

注記 付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）

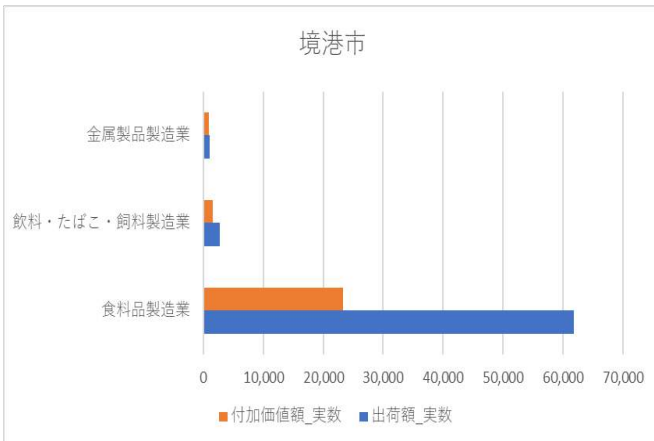
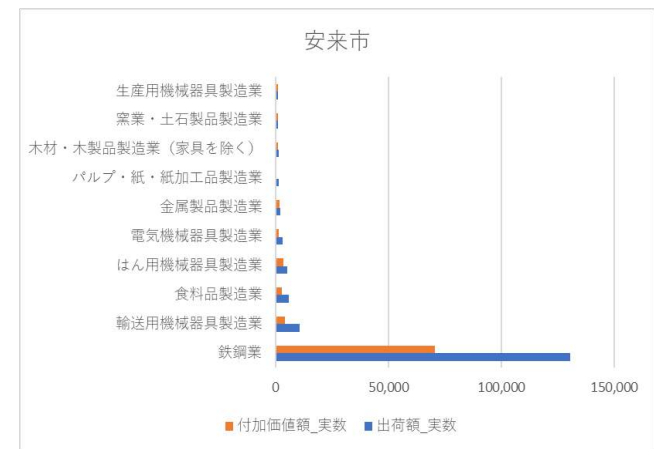
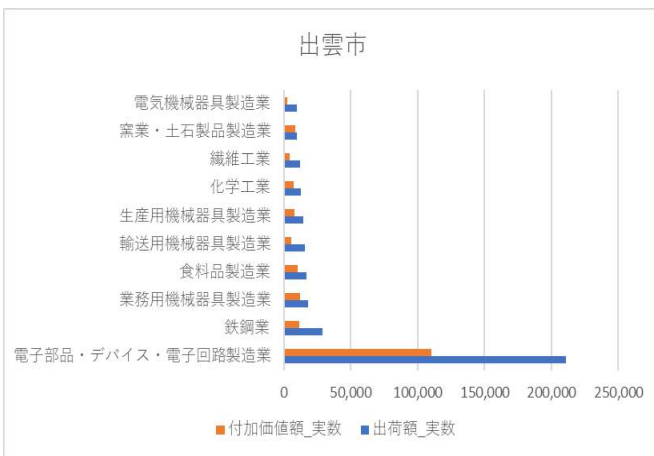
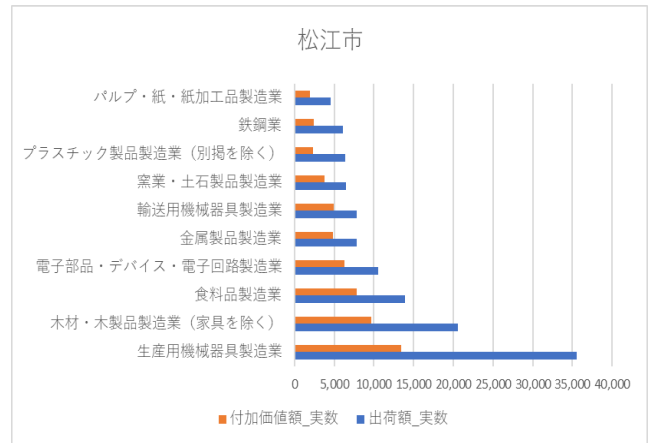
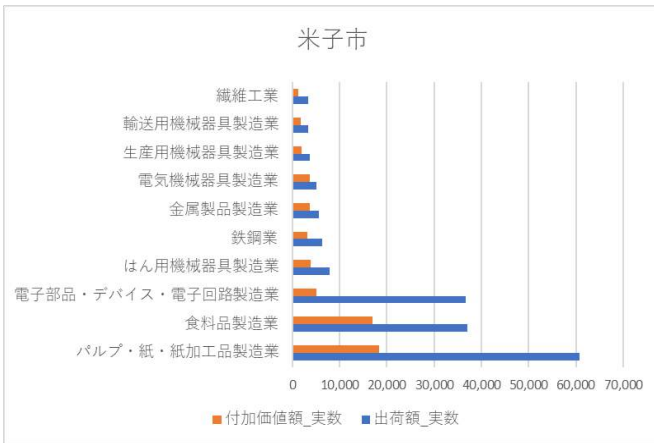
○圏域の工業団地



○圏域内製造業の事業所数

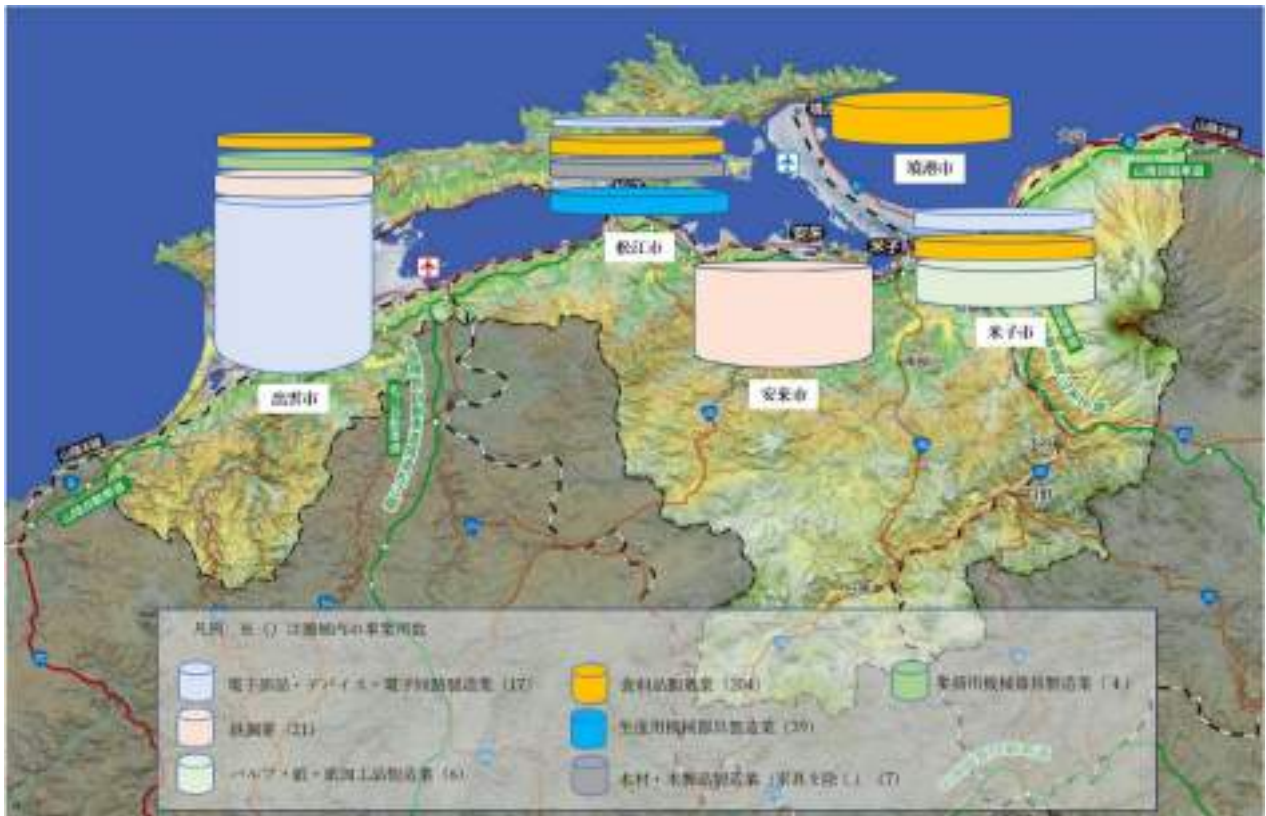


○各市の主な製造業（中分類）の付加価値額と出荷額（単位：百万円）



【資料】 RESAS-地域経済分析システム 産業構造マップ より作成

○圏域の主な製造業の出荷額のイメージ



資料「RESAS-地域経済分析システム 地域経済循環マップ 生産分析（2015年）」より作成

【参考 情報サービス業インターネット附随サービス業 の売上高及び企業数】

区分	米子市	松江市	出雲市	境港市	安来市
売上高(百万円)	6,767	19,424	2,987	X	X
企業数	24	46	16	1	2

○圏域の観光入込客数

(単位：千人)

平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
28,302	27,404	26,845	28,574	17,078	16,543

出典：鳥根県観光動態調査・鳥取県観光客入込動態調査

○圏域の外国人宿泊客数

(単位：人)

平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
93,543	117,397	146,465	146,732	16,650	8,010 人

出典：鳥根県観光動態調査・鳥取県観光客入込動態調査

○県外客の利用交通機関に占める自家用車の割合

鳥根県			鳥取県		
令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
68.9%	77.3%	84.2%	66.9%	68.5%	72.0%

出典：鳥根県観光動態調査・鳥取県観光客入込動態調査

○主な観光地・施設の入込客数



○インバウンド宿泊客数

区分	松江市	安来市	出雲市	鳥取県西部
韓国	13,413	208	1,139	34,155
中国	6,277	178	2,235	5,753
香港	12,533	91	2,016	14,674
台湾	18,836	26	2,163	5,753
アメリカ	4,607	82	485	1,070
カナダ	531	14	170	171
イギリス	1,424	22	220	145
ドイツ	785	25	148	364
フランス	4,829	23	325	259
ロシア	147	0	14	324
シンガポール	981	2	280	262
タイ	705	31	130	389
マレーシア	159	0	87	183
インド	1,856	0	67	280
オーストラリア	1,875	19	121	118
インドネシア	304	0	47	70
ベトナム	108	4	161	70
フィリピン	64	0	159	32

資料 令和元年度鳥根県観光動態調査 鳥取県観光入込動態調査により作成

(3) 防災・安心・安全

圏域は比較的自然災害の少ない地域ですが、過去には島根県側では昭和 48 年及び平成 9 年、平成 18 年の水害、鳥取県側では平成 12 年の鳥取県西部地震、平成 29 年の大雪により山陰道の長時間通行止めなど、甚大な被害を受けました。近年は線状降水帯のゲリラ豪雨による土砂崩れ、道路通行止めが生じており、対応が必要な状況です。一方島根半島には島根原発が立地しており、島根県、鳥取県において、島根県広域避難計画、鳥取県広域住民避難計画が策定され避難経路も設定されていますが、円滑な移動を確保するためのインフラ整備が必要とされています。

また第 3 次救急医療機関である鳥取大学医学部附属病院、松江赤十字病院、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院では、圏域のみならず鳥取県中部や島根県中部からの救急搬送の受け入れ先となっており、医療拠点として重要な働きを担っています。しかしながら、昼夜間問わず比較的多くの自動車が一般道を使用しているため、市街地の慢性的な渋滞が発生し救急搬送の定時性の確保が課題となっています。

○洪水想定区域及び島根原子力発電所からの距離（イメージ）



出典：ハザードマップポータルサイト (<http://disaportal.gsi.go.jp/>) を加工して作成

○緊急業務の平均所要時間

本部名称	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	【入電－現着】 平均所要時間 (分)	【入電－病院収容】 平均所要時間 (分)
鳥取県西部広域行政管理組合消防	10,544	9,123	9.4	37.5
松江市消防本部	8,184	7,608	8.2	29.9
出雲市消防本部	6,059	5,666	8.4	33.0
安来市消防本部	1,722	1,598	9.4	45.2
圏域合計・平均	26,509	23,995	8.85	36.4
富山県	39,778	37,733	7.7	32.2
石川県	40,630	37,410	7.9	34.8
福井県	26,253	24,822	7.7	34.0

資料 消防庁令和 2 年中の救急業務における消防本部別実施状況 より作成

○圏域の交通量イメージ



箇所	路線名	昼間12h交通量 (小型車 上下計) (台)	昼間12h交通量 (大型車 上下計) (台)	昼間12h交通量 (全車上 下計) (台)	24h交通量 (小型車上下 計) (台)	24h交通量 (大型車上下 計) (台)	24h交通量 (全車上下 計) (台)	昼間12h 大型車混 入率 (%)
安来駅周辺※	一般国道9号	15,300	2,511	17,811	20,398	3,825	24,223	14.1
玉湯～穴道	一般国道9号	16,421	3,331	19,752	22,215	4,523	26,738	16.9
加茂町～錦海町2丁目※	一般国道9号	15,754	1,464	17,218	20,739	1,816	22,555	8.5
直江駅前※	一般国道9号	14,160	2,248	16,408	18,518	3,141	21,659	13.7
安来IC～東出雲IC	一般国道9号(安来道路)	7,738	1,143	8,881	9,213	1,739	10,952	12.9
松江JCT	一般国道9号(松江道路・本線)	36,893	4,313	41,206	45,306	6,037	51,343	10.5
玉造IC～穴道IC	山陰自動車道	9,192	1,330	10,522	10,836	1,893	12,729	12.6
斐川IC～出雲IC	山陰自動車道	2,837	498	3,335	3,257	709	3,966	14.9
米子JCT～二本木※	一般国道431号	11,823	1,529	13,352	15,016	2,075	17,091	11.5
皆生～西福原※	一般国道431号	26,641	1,577	28,218	34,182	2,784	36,966	5.6
森山～宇部尾※	一般国道431号	1,989	238	2,227	2,415	324	2,739	10.7
本庄道の駅前	一般国道431号	6,974	500	7,474	8,634	595	9,229	6.7
松江市役所～警察学校	一般国道431号	13,389	559	13,948	16,439	662	17,101	4
寺津～長江(穴道湖北岸)	一般国道431号	10,462	486	10,948	13,043	624	13,667	4.4
平田文化会館～美談駅※	一般国道431号	11,929	635	12,564	14,826	1,130	15,956	5.1
大根島～大海崎橋※	美保関八束松江線	6,959	1,161	8,120	8,682	1,468	10,150	14.3
江島～美保関※	美保関八束松江線	4,328	301	4,629	5,172	475	5,647	6.5
西尾IC～津田IC	一般国道485号	18,276	1,007	19,283	22,027	1,151	23,178	5.2

【参考】混雑時旅行平均速度(単位: km/h)

箇所	混雑時旅行速度(上り)	混雑時旅行速度(下り)	昼間非混雑時旅行速度(上り)	昼間非混雑時旅行速度(下り)
一般国道9号	32.1	30.7	37.3	39.1
山陰自動車道	78.8	79.4	76.7	76.1
一般国道431号	39.9	40.4	40.6	42.3
美保関八束松江線	49.1	50.8	52.6	52.2
一般国道485号	41.3	50.3	43.8	51.6

資料 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果(可視化ツール)より作成